

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あいあいの家 ひかり		公表日		2025年 3月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		個別の部屋が足りない時は、広い部屋を仕切り使用している。	利用児の人数、療育内容に合わせて、より良い環境にしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		全体への対応、個としての対応等の為、豊かな職員配置をしている。	職員が多すぎると感じる時は利用児の状況に合わせて職員があえて離れたりしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		本人の靴、荷物、椅子のマークの統一、活動の流れなどを必要に応じて絵カードで提示している。個別の部屋、遊びの部屋など用途で分けている。	時間や空間を利用児にわかりやすく構造化していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		床の拭き掃除、消毒等だけではなく、換気、加湿に常に気をつけて、安心して過ごせる環境を心掛けています。	活動内容によって部屋の中を仕切ったり、常に子どもの活動に合わせていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		集団の中で落ち着きたいときなど、本人と相談して、個別の部屋で過ごしている。	不安な気持ちを落ち着かせる環境を整えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		月1回の定例会での振り返りと毎日療育前後にミーティングを実地している。	日々の支援の結果を記録し、評価をして次の支援に活かしていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者の結果を踏まえて具体的な意向を把握して、職員の中で共有してどう改善したらいいか話し合いをしている。	アンケートだけでなく面談時に率直なご意見をお聞きし、改善できることはすぐ改善していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		療育前後のミーティングや定例会で話し合っている。	20名定員から10名定員になり全体に余裕が生まれるので一段と話し合う機会を増やしていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		今後検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部から講師を招いて研修会を開催したり、職員が知識を伝える研修をしている。	具体的に個別療育に対し、療育内容の指導等の研修に今後力を入れていきます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		ホームページに作成、公表している。	折に触れ、保護者に説明していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者との面談や関わる職員と実際の状況や課題を整理した上で支援計画を作成している。	発達検査の結果等もよく分析したり、課題を整理しながら状況をよく見た上で、具体的な支援内容・留意事項を記載して、達成可能なわかりやすい計画にしています。個別支援計画に沿っているか常に見直していきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		支援会議で話し合った上で原案を作り、支援に関わる職員全員で再度検討している。	常にこどもの最善の利益は何かという意識を持ち、計画を作っていきます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		定期的な支援計画に沿った支援ができているか見直している。	日々の個人記録に対しても、支援計画に沿った視点での評価を記入していけるようにしていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		当法人において標準化したアセスメントツールを使用している。	アセスメントシートがよりこどもの状況を把握できるシートになっているか常に見直しお子さんの状況を総合的に把握できるようにしていきます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		主に発達支援において長期・短期目標を設定し、達成可能な支援内容、具体的な支援方法を明記している。	子育て上の課題の聞き取りを日々行い、保護者に寄り添い一緒に考える視点を持って家族支援をしています。地域支援においては、関係機関との連携を図れるような支援体制を作っていきます。家族支援、地域支援に対しても内容や方法を明記していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		こどもの年齢、特性に合わせて職員間で話し合い工夫している。	障がいの特性、発達の段階等を考慮して関わる職員全員での話し合い、内容を組み立ていきます。月に1度の定例会などで決めるが、日々の振り返りの中、担当者全員で話し合いより良い内容に変えていっています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		こどもの特性、発達に合わせて固定化すべき部分と固定化されない部分を考えている	活動プログラムが常に、年齢や発達課題に応じた内容かどうか検討していく必要があります。ホールの遊びは、月や曜日により設定を変えている	

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別療育、個別学習に偏らない様に集団活動にも力を入れている。	1日の療育の中で、年齢・発達に合った集団活動と、1対1の個別療育・個別学習を適宜組み合わせ、計画を作成し、集団・個別の評価をしていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		活動内容の打ち合わせと、前回、支援終了後の振り返り内容等を毎回確認して、その日の支援に活かしている。	お子さん一人ひとりの課題、目標を職員と共有し、細かく支援内容を日々確認しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員間で振り返り、次回に活かせる様に、次週の業務日誌に記述している。	支援で工夫が必要な点等を常に振り返り改善できることはすぐに改善します。業務日誌を新しく改善し振り返りが次回により活かせる様になった。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個人ファイルに個人の様子と個別療育学習内容を記録し、支援計画作成時に振り返っている。	支援計画に沿った評価を意識して記録する様にしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1回、職員間での聞きとりと、1年に1回保護者面談をした上で見直しをしている。	支援計画に対して、客観的な評価が出来るか見直し、支援方法の変更等も判断して計画の見直しをしていきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		個別担当者から状況を聞きとり、常勤職員が参加している。	出来る限り開催してほしいが会議がないので、状況等を担当相談員に連絡をとったりして聞くようにしている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて情報共有や相談を行っている。	必要に応じて、保健センター、保育園、幼稚園の関係機関との情報共有をして支援内容の共有が出来るようにしていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		園からの要請があれば、担当者会議に参加し、情報の共有を図っている。	いつでも、支援内容について、共有出来る体制を作っていきます。園との連携がとれるといいと思います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		直接学校とのやり取りではないが、学校教育課と情報共有をしている。	今後、学校からの情報を求められたら保護者の承認を得て情報提供をしていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センター開催の研修などに積極的に参加している。	研修等での関わりの中で、関係性を深め相談していきたくて考えています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		ハロウィンイベントでは、兄弟姉妹との関わりを持てる機会になりました。	来年度もハロウィンイベント開催予定。園との交流の機会が増えればと考えています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育後に個室にて担当者や保護者の話し合いの時間を作っている。	通所日以外でも、いつでも個別での相談を受けられる体制をとっていきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		日頃から、それぞれの子どもに応じた対応のアドバイスや茶話会、勉強会を行っている。	家族支援プログラム等の実施の検討をしています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に分かりやすく説明している。	いつでも、疑問等があれば、速やかに対応していきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		利用児と信頼関係のある担当者が利用児の意見をよく聴き、保護者と支援者が同じ方向性が持てる計画を作成しています。	状況を見ながら随時計画を変更していくなど、常に利用児や保護者と話し合っていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		発達支援を中心に長期・短期目標を立てて、支援内容等を分かりやすく説明後、同意を得ている。	家族支援、地域支援内容についても説明をしていきます。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		日々の中で相談対応していますが、必要に応じて別日の相談日を設け、個別に対応している。	保護者の悩み等に対して、常に寄り添いながら一緒に考えていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		2か月に1回のおしゃべり会の開催や、来所日が同じ保護者同士が交流できるように、環境を提供している。	保護者交流のニーズにさらに対応していけるように環境を提供していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		相談があった場合は面談の時間を設けたりして迅速に対応している。	いつでも相談を受け付けていることを、おたよりなどで周知していき、日程調整をしています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		月1回お便りを発行。行事予定と子育てのアドバイス等発信している。	法人としての会報は年に2回発行予定。たすけあい活動など、子育て支援に関わる情報も発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人ファイルの管理他、会報などの写真の取り扱いに注意している。職員には守秘義務を遵守する様、常に話している。	お子さんの事をお聞きしたりする時には、個室で聞くなど十分な配慮をしています
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		子どもへはゆっくり、分かりやすく伝えている。保護者の方にも具体的に分かりやすく伝えている。	具体的に使った教具などを使って療育内容をお知らせしています
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		行事に地域住民を招待しておりません。	第3・第4日曜日の開放日を地域の方にもお知らせして、来ていただく機会を増やしていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		定例会でマニュアル等を周知し、訓練を実施している。常に職員がマニュアルを閲覧できるようにしている。	保護者にマニュアル等を簡潔にまとめた文書をお渡しできるようにしていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		BCP研修を行い、年に2回の防災訓練を実施している。	全ての曜日に年2回訓練が出来るようにしていきます、保護者に報告していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		フェイスシートに服薬状況、お子さんの状況など記入していただいている。	単独通園もありますのでより細かく状況を確認するため書面の提出をお願いしていきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		母子通園であり、おやつ・食事の提供は行っていない。	保護者からの申告をうけ、情報把握はしている。また、保護者に医師の指示がある場合も申し出を受けている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		安全計画を作成し、定例会で研修・訓練を行っている。	毎月定例会で安全管理の振り返りや点検を行い、安全点検項目の見直しを行っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		災害時伝言ダイヤルの利用方法を書面にてお知らせしている。	簡潔にまとめた安全計画のマニュアルを保護者にお渡しできるようにしていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハットを書類で残し、月1回の定例会で共有し、今後の対策を決めている	日々支援前の注意事項を共有して、安全への意識を高め、支援後の振り返りを行っています。小さな出来事でも、出来る限り記入していく様にします。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			外部の研修にも積極的に参加して、常に意識を持って定例会でも伝えていく必要があります。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		身体拘束は行わない。支援の仕方などは共通理解を図っている	今後も、より良き支援の為に環境を整えて、利用児にとってのいい支援が出来る様にしていきます。	